

## 平成 22 年度 第 1 回工学部教育企画委員会 FD 部会議事録

日時：平成 22 年 5 月 26 日 (水) 10:40 - 12:15  
場所：理工学研究科棟 2 階 工学部第 1 会議室 (北)  
出席者：委員：森田、渋谷、石丸、佐々木、王、山田 (司会)  
学務係：清水、桐生、 佐藤工学部長、重原副学部長  
欠席者：前山

### 審議事項

#### 1. 平成 22 年度の FD 活動計画

平成 22 年度国立大学法人埼玉大学年度計画をもとに、本年度 FD 部会として活動すべき項目についての確認を行った。

#### 2. FD ガイドラインに基づく活動

##### ① 教員相互の授業参観 (オープンクラス) について

本年度は 6 月 21 日から 7 月 2 日までを実施期間とする。また、以下の 2 点の変更を行った。1. 非常勤講師が担当する授業科目も対象科目とすることが可能となるようにした。2. アンケートの提出先を学務係とした。

来年度へ向けて、すべての科目を参観対象科目と出来ないかについて議論を行った。

##### ② シンポジウムについて (テーマ、時期)

(1) 開催時期を 12 月 3 日 (金) とした。

(2) 今年で教員相互の授業参観 (オープンクラス) が 4 年目を迎えることから、テーマとしてその総括をしてはどうかという意見が上がった。今後も検討を行うこととした。

##### ③ 授業進行の手引きについて

本年度は改訂を行わないこととした。

##### ④ 学生による授業評価について

昨年度第 11 回全学教育企画室会議議事メモに「各学部等では授業評価結果を分析し」とあるが、これが何をどこまで行うことを期待されているか分からないという意見が上がったため、廣瀬教授へ山田から話を伺い、その上で対応を取ることとなった。

#### 3. TA について

現在の TA 実施報告書およびその保管方法についての問題点の確認を行い、今後書式の改訂および保管方法について議論を行うこととした。

#### 4. その他

- 次回日程 平成 22 年 6 月 30 日 (水) 10:40 から

平成 22 年度 第 2 回工学部教育企画委員会 FD 部会議事録

日時：平成 22 年 6 月 30 日 (水) 10:40 - 12:10

場所：理工学研究科棟 2 階 工学部第 1 会議室 (北)

出席者：委員：森田、前山、渋谷、石丸、佐々木、王、山田 (司会)

学務係：清水、桐生、重原副学部長

審議事項

1. FD ガイドラインに基づく活動

① 教員相互の授業参観 (オープンクラス) について

来年度へ向けて、すべての科目を参観対象科目と出来ないかについて議論を行い、学科からの反対意見があるようであれば、次回 FD 部会にあげて頂くこととした。

② シンポジウムについて (テーマ等)

「教員相互の授業参観」をテーマとすることについて議論を行い、授業参観について各教員がどのように感じているかのアンケート案を山田が作成することにした。今後も検討を行うこととした。

③ 学生による授業評価について

Best Lecture 賞などの活用事例を公開してはどうかという意見が上がった。引き続き検討を行うこととした。

2. TA について

TA 実施報告書の保管場所については学科事務室・成績保管場所など、学科ごとに管理を行うこととした。TA 実施報告書の書式については報告書の趣旨・目的に依存するので、まずそれを明確にすることにした。改訂をお願いする際は、前山先生と石丸先生にその作成をお願いすることにした。

3. その他

- 平成 22 年度前期「学生による授業評価」調査実施の依頼があった
- 54 番教室のワイヤレスマイクの混信、53 番教室の電池切れの報告
- 次回日程 平成 22 年 7 月 28 日 (水) 10:40 から

平成 22 年度 第 3 回工学部教育企画委員会 FD 部会議事録 (案)

日時：平成 22 年 7 月 28 日 (水) 10:40 - 12:10  
場所：理工学研究科棟 2 階 工学部第 1 会議室 (北)  
出席者：委員：森田、前山、渋川、石丸、佐々木、王、山田 (司会)  
学務係：門平、桐生、重原副学部長

審議事項

1. FD ガイドラインに基づく活動

① 教員相互の授業参観 (オープンクラス) について

来年度へ向けて、すべての科目を参観対象科目と出来ないかについて議論を行った。特に反対意見はなかったが、機械工学科より教室会議での審議を経たい旨の申し出があったため、それを待つこととした。

② シンポジウムについて (テーマ等)

「教員相互の授業参観」をテーマとすることについて議論を行い、次回までに議論に必要なデータを提示するよう意見が上がった。今後も検討を行うこととした。

③ 学生による授業評価について

2006 年度以前の学生による授業評価の報告書の作成において、工学部で行っていたのと同様の分析を行い、その結果を学部 HP に公開してはどうかという意見が上がった。引き続き検討を行うことにした。

2. TA について

TA 実施報告書の書式については報告書の趣旨・目的に依存するので、まずそれを明確にすることにした。そのため、まず TA に関わる業務の役割分担の見直しを重原副学部長に依頼した。

3. その他

- 次回日程 平成 22 年 8 月 25 日 (水) 13:30 から

平成 22 年度 第 4 回工学部教育企画委員会 FD 部会議事録 (案)

日時：平成 22 年 8 月 25 日 (水) 13:30 - 15:00

場所：理工学研究科棟 2 階 工学部第 1 会議室 (北)

出席者：委員：森田、前山、渋谷、石丸、佐々木、王、山田 (司会)

学務係：門平、桐生、 佐藤工学部長、重原副学部長

審議事項

1. FD ガイドラインに基づく活動

① 教員相互の授業参観 (オープンクラス) について

来年度より原則すべての科目を参観対象科目とすることが承認された。

② シンポジウムについて (テーマ等)

「教員相互の授業参観」をテーマとすることについて議論を行い、次回までに授業参観について各教員がどのように感じているかのアンケートを取り、その結果にもとづいてシンポジウムのテーマ案を山田が作成することとなった。

③ 学生による授業評価について

2006 年度以前の学生による授業評価の報告書の作成において工学部で行っていたのと同様の分析を行い、その結果を学部 HP に公開することが承認された。

2. TA について

重原副学部長より TA 実施報告書の変更案が提示され、それにもとづいて前山先生と石丸先生に TA 実施報告書の案を作成して頂くこととした。

3. その他

- 次回日程 後日、メールにて調整することとなった。

平成 22 年度 第 5 回工学部教育企画委員会 FD 部会議事録 (案)

日時：平成 22 年 10 月 22 日 (金) 13:00 - 14:05

場所：理工学研究科棟 2 階 工学部第 1 会議室 (北)

出席者：委員：森田、前山、渋谷、石丸、佐々木、深堀 (代理)、山田  
(司会)

学務係：門平、桐生、

佐藤工学部長、重原副学部長

審議事項

1. FD シンポジウムについて

「教員相互の授業参観」に関するアンケート結果をもとに議論を行い、授業評価の高い先生にお願いをして、実際の講義の様子を録画させていただき、それを元にどのようなことに気をつけて講義を行なっているかをお話ししていただく、という内容にすることとした。

(その後のメール審議等で、池口先生に模擬講義をお願いすることとなった。また、FD シンポジウムの開催時間を 10:00-12:00 に変更した。)

2. TA について

前山先生と石丸先生より TA 実施報告書の改訂案が提示され、それについて議論した。引き続き検討を行うこととした。

3. その他

- 次回日程 平成 22 年 11 月 5 日 (金) 13:00 から

平成 22 年度 第 6 回工学部教育企画委員会 FD 部会議事録 (案)

日時：平成 22 年 11 月 29 日 (金) 13:00 - 14:07

場所：理工学研究科棟 2 階 工学部第 1 会議室 (北)

出席者：委員：前山、渋谷、石丸、マジャロヴァ(代理)、山田(司会)

学務係：門平、桐生、重原副学部長

**審議事項**

1. FD シンポジウムについて

FD シンポジウム当日の流れと役割分担について確認を行った。

2. その他

- 次回日程 後日、日程調整を行うこととした。

平成 22 年度 第 7 回工学部教育企画委員会 FD 部会議事録 (案)

日時：平成 23 年 1 月 21 日 (金) 14:40 - 15:30

場所：理工学研究科棟 2 階 工学部第 1 会議室 (南)

出席者：委員：森田、前山、渋谷、石丸、佐々木、王、山田 (司会)

学務係：門平、桐生 佐藤工学部長、重原副学部長

**審議事項**

1. FD シンポジウムについて

平成 22 年 12 月 3 日に開催された FD シンポジウムについて話し合われた。

山田から、事前の了承なしに「学生 FD フォーラム」の宣伝を行わせたことについて意見を求めたが、特に問題ないという意見が多かった。また、宣伝をしたい旨の連絡が事前に必要であることを主催学生に対して伝えるべきである、という意見があった。

2. TA について

配布資料 2. の TA 報告書 (改定案) を採用することが承認され、報告書は pdf ファイルにより学務係へ提出することが決められた。また、学科への提出は、必要に応じて各学科で行ってもよいことが確認された。

3. 学生による授業評価について

学生による授業評価が 3.0 未満の専門科目について、担当教員に対して評価結果への意見・対応案を一律に求めていることについて、本当に必要であるかが話し合われ、「必要に応じて」求めることに修正が可能であるかを調査の上、可能である場合、メール審議を行うこととした。

(メール審議の結果、「評価結果への意見・対応案を必要に応じて求める」ことで承認された。)